



議会だより

〔題字〕 中山 信和さん（米田行政区）

第135号

かわさき

令和元年8月1日発行
福岡県川崎町

スポーツフェスタたがわ
(田川郡民体育大会)

3期連続優勝!!



▲川崎町ソフトボール協会選抜チーム (P16)

6月 定例会議

令和の新しい時代を担う議員団……………

2

6人の議員が登壇 ～一般質問～ ………

8

特集 議会のしくみとは……………

14

川崎町議会ホームページ

川崎町議会 検索

QRコードからでもご覧になれます▶

<http://www.gikai-kawasaki.com/>



今年度の議会だよりの表紙は、《大好き かわさき町》がテーマです。
みんなの大好きな川崎町に関する写真のご応募をお待ちしています。

川崎町役場 議会事務局 ご持参または郵送ください

〔お問合わせ〕 議会事務局 ☎72-3000 内線(318・319)



令和の新しい時代

議長・副議長選挙



議長
櫻井 英夫



副議長
大谷 春清

改選後、5月8日の本会議において、議長及び副議長の選挙が行われました。

議長選挙では、櫻井英夫議員と繁永英樹議員と小田卓議員の3名から所信表明の申し出があり、無記名投票の結果、櫻井英夫議員が議長に当選しました。

副議長選挙では、所信表明を申し出たのが大谷春清議員のみでありましたので、無投票により大谷春清議員が副議長に当選しました。

櫻井英夫議長が 田川郡町村議会 議長会副会長に就任

5月20日に開催された田川郡町村議会議長会議において、櫻井英夫議長が田川郡町村議会議長会の副会長に選任されました。任期は令和元年5月20日から令和3年5月19日までの2年間になります。

川崎町 監査委員(議会選出) 選任

監査委員に松田孝行議員

町の監査委員は2名ですが、そのうち議会から選任される1名について、町長より監査委員選任の同意を求める議案が提出され、松田孝行議員が全会一致で選任されました。



監査委員
松田 孝行

を担う議員団

常任委員会・議会運営委員会構成

常任委員会は、その所管に属する事務の調査を行うとともに、本会議において付託された議案等について、詳細に審査を行い、その結果を本会議に報告する下審査機関です。常任委員会が所管する職務内容については4ページをご覧ください。

【総務常任委員会】



中山 信和 大谷 春清 北代 俊雄
○川根 節生 ◎樋口 秀隆

【民生文教常任委員会】



寺田 響 手嶋 真由美 繁永 英樹
○見月 康一 ◎原 節雄

【建設産業常任委員会】



千葉 加代子 松岡 久代 松田 孝行
○小田 卓 ◎手嶋 康德

【予算決算常任委員会】

◎大谷 春清 ○松田 孝行
議長を除く議員13名

【議会運営委員会】

◎寺田 響	○小田 卓
中山 信和	手嶋 康德
原 節雄	樋口 秀隆
大谷 春清	

各常任委員長の4名及び総務・民生文教・建設産業常任委員会から1名ずつの計7名で構成

※◎…委員長 ○…副委員長

各委員会の職務内容

総務常任委員会



総務課、防災管財課、財政課、企画情報課、税務課、会計課の所管に関する事務及び他の委員会に関しない事務の調査や審査を行います。

予算決算常任委員会

「予算(補正予算も含む)」と年度末の「決算」等、町の財政全般について審議する委員会です。

議長を除く議員15名全員で構成されていますが、これは議員全員が他の所管の予算を全般にわたって理解を深めるとともに、所管を超えて重なっている事案予算に対する審議の必要があることから、平成26年4月に議会改革の一環として新設されました。

議会運営委員会

議会運営上の事柄について整理し、取り決めの案をつくる委員会です。主な審議内容は次の通りです。

- ・議会の日程、議案の所管の振り分け案
- ・議会内での様々な取り決め、申し合わせ事項の審議
- ・議会改革や議会基本条例に関する事項
- ・一般質問の順番抽選

民生文教常任委員会



福祉課、高齢者福祉課、住民課、健康づくり課、教育委員会、人権推進課、愛光園、同和保育所の所管に関する事務の調査や審査を行います。

建設産業常任委員会

農林振興課、商工観光課、事業課、住宅課の所管に関する事務の調査や審査を行います。



議会の傍聴においでください

次回定例会予定

- ◎9月 3日…本会議(初日)
- ◎9月 6日…本会議(中日)
- ◎9月13日…本会議(一般質問)
- ◎9月17日…本会議(最終日)

議長室から

去る5月28日、全国町村議長会による正副議長研修会が東京で開催され、約2000名の方々が参加されました。統一地方選挙直後の研修とあって、皆さん真剣に受講されていました。

講師のディスカッションに対し会場から質疑、意見表明の機会が与えられましたので、思いきって手を挙げて発言しました。

- ・執行部に比べ、議会が認知評価されていない。
- ・町会議員の身分が国・県議員より低く見られている。
- ・マスコミは議員の悪い点ばかりを報道する。

以上の3点を申し上げました。

議員のなり手不足、無投票当選の背景には、これらの要因がないでしょうか。議会や議員が住民から軽視される存在であってはならないでしょう。

幸い、本町議会議員選挙が無投票だった記憶はありません。それだけ町民の政治への関心の高い町だと言えます。

本町の次代を担う新人、若手議員の発掘養成も、町議会の重要な役目だと考えています。



(研修会後の原田義昭環境大臣との面談)

新体制発足後の補正予算可決

町道改良工事など投資的事業を計上

一般会計補正予算(第1号)は、当初予算を骨格予算で組んでいたため、町道改良事業などの計上により、**7億9088万円**の増額補正となりました。各会計の補正予算の主な内容は、次のとおりです。

●一般会計補正予算(第1号)

補正前の額	補正額	補正後の金額
108億8153万円	7億9088万円	116億7241万円

子育て支援センター
移転事業
3095万円



現在の青少年ホームより
老人福祉センターへ移転します。

プレミアム付商品券に
関する事業
1億5231万円



従来の「かわさきまちプレミアム付商品券」と消費税増税対策の「プレミアム商品券」の2つがあります。

かわさきパン博助成金
500万円



今年は
10月開催予定です。

町道の新設改良事業
4億5014万円



計6本の新設改良
道路です。

De愛橋整備事業
3000万円



鷹羽地どり
小梅ちゃんと
横の駐車場を結ぶ橋を架けます。

農業用施設の維持管理費
2816万円



農業用ため池の耐
震調査などを行い
ます。

●川崎町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第2号)

補正前の額	補正額	補正後の金額
5億5541万円	318万円	5億5859万円

住宅新築資金等貸付システムの更新整備……318万円

※金額については、千円以下を四捨五入しています。

赤字決算の会計へ前年度繰上 充用金の補正予算を専決

平成30年度赤字決算の3つの会計に対し、前年度繰上充用金の補正をする必要が生じたため、専決処分を行いました。各会計の補正額(赤字額)は次のとおりです。

学校給食センター 特別会計	補正前の額	補正額	補正後の金額
	1億6860万円	217万円	1億7077万円
国民健康保険事業 勘定特別会計	補正前の額	補正額	補正後の金額
	20億225万円	5億2496万円	25億2721万円
住宅新築資金等 貸付事業特別会計	補正前の額	補正額	補正後の金額
	1971万円	5億3570万円	5億5541万円

※金額については、千円以下を四捨五入しています。

条例一部改正

職員数に合わせ職員定数条例を改正

職員の退職、新規職員や再任用職員の採用、人事異動による職員数の増減に合わせて職員定数条例を変更するものです。

職員定数は、町長の事務部局職員3名増、農業委員会の事務局職員1名増、教育委員会の事務局職員1名増、公営企業の事務部局の職員9名が全て減となり、合計では4名減の245名となりました。



指名・入札事務は防災管財課

課設置条例につきましては、事務改善に伴い課の統合及び事務の見直しが行われ、指名及び入札事務については財政課に契約係を設置し、事務を行うこととしていました。

しかし、町の財政を担う財政課が指名及び入札事務を行うことは業務に支障が出るのではないかとの町長の提案もあり、今回指名及び入札事務を防災管財課に戻すため課設置条例の一部改正を行うものです。

天皇陛下御即位奉祝の賀詞決議を可決

天皇陛下御即位に際し天皇皇后両陛下の御繁栄と令和の御代の末永い繁栄をお祈りするとともに、町民を代表して謹んで慶祝の意を表す賀詞決議が可決されました。

賀 詞

天皇陛下におかせられましたは このたび風薫る良き日に

御即位になりましたことは 誠に慶賀に堪えないところであります

天皇皇后両陛下のご清祥と 令和の御代の末永き繁栄をお祈り申し上げます

ここに川崎町議会は町民を代表して 謹んで慶祝の意を表します

令和元年5月23日 川崎町議会

令和元年度 第1回川崎町議会(5月会議) 議案一覧と賛否結果

議案番号	案 件 名	賛 否 の 結 果														関連記事
		中 山	北 代	小 田	手 嶋 襄	川 根 康	手 嶋 康	松 田 永	繁 永	見 月	寺 田	千 葉	樋 口	松 岡	大 谷	
選挙第1号	議長選挙	(当選)櫻井英夫 議員														P2
選挙第2号	副議長選挙	(当選)大谷春清 議員														P2
選挙第3号	福岡県田川地区消防組合議会議員選挙	(当選)大谷春清 議員														
選挙第4号	田川地区斎場組合議会議員選挙	(当選)小田 卓 議員														
選挙第5号	田川地区清掃施設組合議会議員選挙	(当選)中山信和、川根節生、手嶋康徳、松田孝行、見月康一 議員														
選挙第6号	田川広域水道企業団議会議員選挙	(当選)見月康一、松田孝行、櫻井英夫 議員														
選挙第7号	福岡県介護保険広域連合議会議員選挙	(当選)中山信和 議員														
選挙第8号	田川郡東部環境衛生施設組合議会議員選挙	(当選)手嶋康徳、寺田 響、原 節雄、櫻井英夫 議員														

令和元年度 第2回川崎町議会(5月会議) 議案一覧と賛否結果

議案番号	案 件 名	賛 否 の 結 果														関連記事
		中 山	北 代	小 田	手 嶋 襄	川 根 康	手 嶋 康	松 田 永	繁 永	見 月	寺 田	千 葉	樋 原	樋 口	松 岡	
報告第1号	専決処分の報告について(川崎町税条例等の一部を改正する条例)	報告のため採決はありませんでした														
報告第2号	専決処分の報告について(川崎町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	報告のため採決はありませんでした														
議案第1号	川崎町副町長の選任について(宮田等)	(同意)簡易表決														
議案第2号	川崎町監査委員の選任について(松田孝行)	(同意)簡易表決														P2
発委第1号	天皇陛下御即位奉祝の賀詞決議について	(同意)簡易表決														P6

令和元年度 第3回川崎町議会(6月定例会議) 議案一覧と賛否結果

議案番号	案 件 名	賛 否 の 結 果														関連記事
		中 山	北 代	小 田	手 嶋 襄	川 根 康	手 嶋 康	松 田 永	繁 永	見 月	寺 田	千 原	樋 口	松 岡	大 谷	
発委第2号	議会だより編集特別委員会設置決議について	(可決)簡易表決														P16
発委第3号	川崎町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	(可決)簡易表決														
報告第3号	専決処分の報告について(令和元年度川崎町学校給食センター特別会計補正予算(第1号))	報告のため採決はありませんでした														P5
報告第4号	専決処分の報告について(令和元年度川崎町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号))	報告のため採決はありませんでした														P5
報告第5号	専決処分の報告について(令和元年度川崎町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号))	報告のため採決はありませんでした														P5
報告第6号	平成30年度川崎町継続費繰越計算書について	報告のため採決はありませんでした														
報告第7号	平成30年度川崎町繰越明許費繰越計算書について	報告のため採決はありませんでした														
報告第8号	放棄した債権の報告について	報告のため採決はありませんでした														
議案第3号	川崎町固定資産評価員の選任について(四郎丸史代税務課長)	(可決)簡易表決														
議案第4号	川崎町職員定数条例の一部を改正する条例について	(可決)簡易表決														P6
議案第5号	川崎町課設置条例の一部を改正する条例について	(可決)簡易表決														P6
議案第6号	令和元年度川崎町一般会計補正予算(第1号)について	(可決)簡易表決														P5
議案第7号	令和元年度川崎町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第2号)について	(可決)簡易表決														P5

賛否表の表示は、○…賛成、●…反対、㊦…欠席、㊧…退席となっています。

※簡易表決とは…あらかじめ議員全員の賛成が見込まれる場合に、議長が賛成者の起立を求めず「異議ありませんか」と諮ることにより可否を問う採決方法です。

一般質問

よりよいまちづくりを
めざして

問う!!
町政を

一般質問とは、定例会議において、各議員が住民の代表として、行政全般にわたり町当局の考え方や疑問をただすことです。



川根 節生 議員

問 通学路の安全対策の強化について

答 早急に見守り強化を図って行く

議員

昨今、全国で頻繁に児童を巻き込んだ事件・事故が発生しています。

本町においても、いつ起こるかわからない事案であると思います。

これらの事件・事故を受け、本町としてどのようにして子どもたちを守るのか、お聞きします。

教育長

全国で通学途中の児童、園児を巻き込んだ痛ましい事件、事故が多発しております。残念ながら人為的かつ計画的に行われる事件については避けようがありません。見守りの強化を図ることが未然に犯罪を防ぐ、また抑止することにつながるのではないかと考えております。

川崎町では、コミュニティスクールを結成しており、早急に見守り強化を図っていきたい。

また、町長部局と協議させていただき、学校内や通学路の防犯カメラの設置等も検討し、犯罪の抑止に向けて取り組みを強化したいと考えております。

議員

通学路の安全確保の徹底を図るとともに、不審者の情

報を共有する事も重要ではないでしょうか。例えば「子ども安全対策推進本部」を設置するなど、子どもが集まる場所については、再度点検を行い、警察によるパトロールの強化や地域の方の見守り活動など、連携を密にする必要があると思いますが、どのように考えてますか。

教育長

昨年、警察から過去3年間で不審者情報があった場所の資料をいただき、緊急点検を行いました。現在、不審者情報については直ちに教育委員会に情報が入り、各学校と連絡を取り合っております。そこから、警察、郊外補導、保育所等へ連絡の上、保護者への連絡も行っております。

議員

本町の危険だと思われる場所を見回ってきました。歩道の幅が狭いところや、歩道が途中でなくなっている箇所、さらには信号機のない横断歩道が多くありました。「万が一」に備え通学路の総点検を早急に行うべきだと思います。

痛ましい事故を防止するための努力を積極的にやっていくべきで

はないでしょうか。

教育長

通学路の安全につきまして、は、今月(6月)下旬に通学路安全推進会議を実施します。これは田川警察署、県土木事務所、各学校、町の事業課、教育委員会で構成されています。各危険箇所の対策を行い必要であれば他の機関とも協力しながら、一層の安全対策をしていきたいと考えます。私たち大人からすれば何でもないと思われるところも子どもたちにとっては非常に危険な場所という場合もありますので、さらに点検をし、今後どの様に改良すればいいのか、考えていきたい。



樋口 秀隆 議員

問 町長所信の中より具体的なアイデアを示して

答 これから一年かけて「総合計画」や「総合戦略」をつくる

議員

町長の所信表明の中で、防犯カメラ設置、防犯灯のLED化、保育料の無償化、ICT教育推進、そして町長自らトップセールスをするという5点が具体的なこととしてありました。

これらについて具体的な実施時期を示してください。

また、魅力あるまちづくり、効率的な業務の執行体制、強固な地域のコミュニティ、校外スポーツ参加環境、農産物のブランド化、空き店舗の有効利用、パン博の新しい形、町民の声の取り入れ方法など、原口町長独自の具体的なアイデアを聞かせてください。

町長

「住みたい、住み続けたい…川崎町」が選挙公約にあり、これを発展させて、子どもの地域の安全安心を守り防犯カメラの導入を進めます。防犯灯、LED化の問題などについては、ふるさと納税寄附金の活用であと2、3年ぐらいで対応します。

また、国が進めている保育料の無償化について、本町はゼロ歳児から2歳児までを完全無償化するという公約をしています。

その他、ICT教育、私がトップセールスを行っていく、などは私の36年間の役場在籍の経験を活かしながら、川崎町を皆さんと共に「総合計画」を見直すことで進めたいと考えています。

問

町営住宅の6階建てを止めて、木造平屋建てに

答

現行の計画を進めることが最善

議員

平屋、木造の利点は、住民のコミュニティが崩れない、生活環境や見守り福祉効果が期待できる、そして1棟の工事金約5億5000万円で、あとの6棟分が町内に経済効果が期待される。

地方自治の観点からも変更を望みますが考えを問います。

町長

平屋、木造の利点は理解しています。しかし現在の公営住宅の建替えは川崎町営住宅長寿命化計画に基づいて計画的に行っており、これは社会資本整備交付金を活用しているため、現在のところこの計画に沿って続けていくことが、川崎町にとって最善だと考えています。

問

職員数が人口に対して異常に多い

答

状況に応じた職員数はこれからの課題

議員

現行の職員数が249名から実質的には5人増えていきます。また、この10年で人口は15%減ってるが職員は3%しか減っていません。

これから優秀な職員を確保するには、俸給のアップが必要なのは。

そのための財源は、10%町の職員を減じ、その中の5%を給与アップに充て、残りの5%を財政再建に充ててはどうですか。

町長

職員給料は給料表に沿って支給、他自治体と比べても低いわけではないし、アップは今は考えていません。

職員数は確かに多いが、川崎町は公営住宅が非常に多く、愛光園など出先機関も多い。しかし、人口に合わせて職員数も考え、採用していくのは大切であり、これからの課題だと感じています。

問

悲惨な状況の鮎返り河川の回復を

答

早速県に働きかける

議員

昨年の西日本豪雨災害の後、風光明媚な「De・愛」周辺の河川が大量の土砂の堆積で悲惨な状況となっており、観光的にも看過できません。

町長

早速自ら県に出向いて働きかけます。安真木地区の観光開発を考え、多くの方が喜んで来ていただけるような場所にしたい。

※その後町長の働きかけにより、来年の夏までには浚渫して頂けるようになりました。





問 免許証自主返納者への支援は

答 他の市町村を参考にして対応する

議員 高齢者による交通事故が多発していますが、交通網が整備されていない地域では、免許の自主返納をためらうケースが多く見られます。市町村では独自の支援サービスを行っていますが、川崎町は検討されていますか。

町長 免許の自主返納者については、5000円を上限に、2分の1を県が助成する制度があります。各市町村を参考にして、対応を考えていきたい。



議員 買い物弱者に対して、ふれあいバス以外に何らかの施策はありますか。

町長 町バスの運営は町民のニーズを聞きながら対応してきましたが、地域の高齢者を含む問題は、解消できていないのが現状です。色々な協議を重ねて検討してまいりたい。

議員 バス停まで歩いていけない方のためのデマンド型タクシーの検討をお願いしていましたが、その後の進展は。

町長 実質的に行っていないのが現状ですが、費用等問題点もありますので、検討しながら町にとって、どういう形がいいのか方針を考えていきたい。

問 通学路の安全確保は

答 点検をしながら対応していく

議員 各学校における通学路の設定がありますが、歩道の区別がある道路を設定し、ない場合は安全が確保できる幅員の道路を設定することになっています。本町の場合、白線を引いて歩道を確保していますが、15cmも無い場所があります。歩道の拡幅をしていただきたい。

教育長 通学路については、慎重に審議しているところです。問題点を点検しながら対応していますが、全体を見直すのは時間がかかります。気がついたところは教育委員会に報告していただき、対応していきたいと考えています。

議員 不登校の子どもの実態把握と対策についての取組は。

教育長 1週間ごとに集計し、欠席を減らす対応をしています。朝、登校していない場合、家に連絡し、続くようであれば子育て支援センターと相談しながら家庭訪問等で登校を促しています。

問 中高年のひきこもり対策は

答 実態把握が今後の課題

議員 40歳から64歳の中高年の引きこもりは全国に61万3千人とされ、80歳の親が引きこもる50代の子どもの面倒を見る

8050問題も深刻で、正しい理解と適切なケアが必要です。本町の実態把握はされていますか。

町長 現在、詳しい情報は把握していません。家族等の相談がないと把握が困難ですが、今後の課題だと認識しております。

問 限界集落の支援は

答 事業を継続し、対策していきたい

議員 少子高齢化により、冠婚葬祭や森林の維持管理など、長年の住民同士の助け合いが困難になっている集落で、山林や農地が荒廃し、鳥獣被害が増加しています。国は過疎対策として、公共事業のかさ上げ等の支援を行っていますが、本町の支援対策は。

町長 川崎町の高齢化率は35.3%です。住民同士が生活、生産を支える機能が低下し、地域活動や暮らしを支える仕組みが薄れて、その対策は大変重要です。高齢者の重要な交通手段の確保、空き家バンクの創設、地域コミュニティの推進、超高速ブロードバンドの整備等の事業を継続し、過疎対策の意味も含め、人口の減少を減らす努力をしていきたい。



*他に再犯防止計画の策定、地域の活性化支援について質問しました。



問 多子世帯第3子以降の給食費を無償化に

答 十分な協議をしながら対応していきたい

議員 現在、保育園では第3子から保育料は無料となっており、10月からは保育園・幼稚園で3歳からの保育料の無償化が実施されます。多子家庭の経済的負担を軽減するため、小学校から大学などに在学する子どもが3人以上いる多子世帯の、第3子以降の給食費を無償にできませんか。

教育長 本町の多子世帯は、生活保護・準要保護世帯を含めて92世帯くらいという事で、数をきちんと把握し、十分協議しながら対応をしていきたいと考えます。



問 小児がん(網膜芽細胞腫)の早期発見の取り組みは

答 乳児健診時にチェックシートを配布し早期発見に努める

議員 小児の死亡原因の第1位はがん、多くの医療機関で小児がん患者は適切な医療を受けれていないことが懸念されます。乳幼児健診時の網膜芽細胞腫を含む小児

がんの早期発見についての取り組みは。

町長 3歳児健診において、斜視や白色瞳孔などの目の状況を確認し、視力検査も実施し医師が異常ありと判断した場合は眼科医への紹介を行うようにしています。今後は、目の健康チェックシートを対象者に配布し、早期発見に努めてまいります。

議員 田川市では健診時にスポットビジョンスクリーナーを使って検査をしており、数秒で近視、遠視、乱視、瞳孔不同などの異常を検出することが可能だという事でした。本町でもこの機器の購入を考えてみては。

町長 いろんな機種、器具があると思います。どれが必要か選択しながら財政状況もありますので検討していきたい。



問 「Net119通報システム」導入の奨励を

答 導入に向けて積極的な働きかけをして行く

議員 聴覚や発話の障がいにより音声への緊急通報が困難な方への対応策として、「Net119通報システム」の導入が進められていますが、田川消防本部では来年度、導入の検討をするとの事。本町でも導入の奨励をしてもらいたい。

町長 誰もが利用可能で安全で安心なまちづくりのためにも必要なシステムと認識している。導入に向けての積極的な働きかけをしていきます。

「Net119通報システム」

通話が困難な方でもスマートフォン画面操作で、緊急時に救急車や消防車の要請ができるアプリ。GPS機能で発信者の位置情報の確認が可能。

その他、住民サービスの向上・高齢者のごみ出し支援などの質問をしました。



問 家庭内教育の向上について問う

答 家庭教育を支える相談体制の充実を図る

議員 私は4年間、町が行う教育支援の政策に注視してきました。結果として、27年、28年の全国学力調査の結果は、ここ10年間で最高記録が出ており、29年、30年は横ばいです。しっかりと結果を残してきていますが、福岡県平均値にまだまだ遠くおよびません。

勉強がすべてではないことは重々承知しております。しかし、私も含め、これからの川崎町、家庭が、保護者が変われば子どもが変わる。今こそ家庭内教育に目を向けなければ、川崎町の教育の向上はないと考えています。

私が考える家庭内教育とは①コミュニケーション能力、②自己肯定感(自分ならできる、自分は必要とされてるんだ、自分は頑張ればできるんだ)です。

その家庭内教育そのものの関心が強い家庭や、本当は積極的に進めていきたいが、仕事などのために十分にはできていない家庭など、さまざまな要因により、家庭教育が十分にできていない現状が、この川崎町にはあります。

しかし家庭教育は、保護者自身が家庭において育みたいものを常に意識し、進んで行うべきものです。家庭教育の主体である保護者自身が家庭教育の必要性、重要性を十分に自覚し、自分の家庭の状況に合っ



た方法で絶えず率先して行うべきことが求められています。

家庭教育は、保護者が責任を持つて行うべきものであるとはいえ、保護者の経験や知識のみで行うことは難しい状況にあります。実際、何をどう行っているのかわからない保護者に、しっかりやりなさいと助言しても、なにも改善されません。

孤立したり進むべき方向性を失いがちな保護者に対して、子育てに見通しが持てるようにしたり、不安が軽減したりするような「支援」を周囲が積極的に行うことが必要だと考えています。

また保護者自身が学び続け、積極的に子どもの発達に沿った家庭教育を行うことが大切です。そのため、保護者が家庭教育について自ら学ぶことのできる機会を増やすことも極めて重要だと考えています。

行政が行える家庭教育の支援は限定的だと感じていますが、保護者自身が、家庭教育について意識を高

めるための支援となる「家庭教育への意識を高める教育機能の充実」と、保護者などの相談を速やかに受けるようにするための支援となる「家庭教育を支える相談体制の充実」、この2点について教育長の考えをお伺いいたします。

教育長 教育の根幹は家庭教育からであると思っております。生まれてから、小学校に上がるまでの6年間は一生涯の人格形成の基礎を培う重要な時期であり、一貫性のある教育を進めていくことが重要で、幼稚園、保育園との連携は、日ごろから保護者は連携を取りながらやっていく必要があると考えております。

家庭教育を支える相談体制の充実、あるいは家庭教育の意識を高める教育については、今後教育講演会、あるいは子育て支援のための講演会、また学習会等を設定しながら、子育ての重要さ、また迷ったときに相談できる体制を作っていきたいと考えています。



問 耕作放棄地の対策は

答 高齢農家や担い手がいない農家のために農作業受託事業を取り組み、積極的に農地の維持管理に努めます

議員 農地は、農業生産を行う上において重要であり、一度荒廃すると、もとに戻すことは大変困難を極めます。農家人口が年々減少をし、高齢化も進んでいる中、積極的な行政による農地の維持管理の取り組みが不可欠ではないですか。

町長 本町では、中山間直接支払い交付金や多面的機能交付金を利用して耕作放棄地や遊休農地発生の解消に取り組んでいます。昨年度、地方創生推進交付金を活用して農機具倉庫を建て、農機具を購入し、今年度より株式会社川崎De愛の新規事業として、高齢農家や担い手がいない農家のために農作業受託事業を行います。このような取り組みを積極的に行いながら、農地の維持、管理に努めてまいります。



問 新規就農者の支援は

答 上真崎の町有農地を 実践研修農場として活用、 定住促進住宅も検討する

議員 新規就農者の支援について、実践農場や新規就農者の定住促進のための住宅の整備など、環境整備を早急に行う考えはありますか。

町長 新規農業者については、現在6名の方が国の補助を受けながら農業で経営が立てられるように、新規就農者ごとのサポート会議を年4回開催し、経営、技術面のサポートを行っています。また、上真崎の町有農地を実践研修農場として活用したり、貸し出すことも考えています。また、新

規農業者の住宅は、現在あります長期宿泊可能な安宅の農業研修施設を利用させていただきたい。

問 観光道路の整備

答 総合的な計画作りから進めます

議員 町民や来訪者の安全性と快適性を兼ねた観光道路の整備を行うことが、点在している観光資源を活かすためにも、急務と思います。今川崎町に観光等で訪れる方につきましては、マイカーでは自由に行けませんが、列車等を利用した方々については、豊前川崎駅から安真木地区それから魚楽園までのこの間につきましては、道路の整備ができてない、特に遊歩道等の整備が必要だと思っておりますが町長のお考えは。

町長 観光開発はフルーツ公園も含めまして、観光道路の整備や「De・愛」のところの橋の建設等、下真崎地区のDe愛が中心になるのと考えております。歩道も整備しながら、JR川崎駅から「De・愛」まで、またその先の雪舟ロードからのトンネルまでの延長線で観光用の道路として魅力ある道にしていきたいと考えています。無駄に開発するのではなく、総合的に皆さんの御意見を聞きながら、計画づくりから取り組みます。

問 文化活動支援の状況は

答 あらゆる場所において 学習することができるような 環境づくりに努める

議員 魅力ある川崎町をつくるためにも文化活動支援は重要と思われます。現状と今後の取り組みについての考えは。

教育長 文化活動支援は極めて重要であると考えております。現在川崎町の文化的な活動といたしましては、川崎文化連盟が中心として活動しています。また、本町の生涯学習活動団体も料理や生け花茶道民舞などの活動をしています。引き続き川崎文化連盟の自主性を尊重しつつ、町民の皆さんの趣味や教養としての文化活動の推進を図りたいと考えております。

問 社会教育施設の管理と運営 状況は、体育用具などの更新 は定期的に行われているか

答 計画的に修理や更新を 行っていきたい

議員 社会教育施設の管理、運営状況については数多くの施設を管理されておりますが、施設の老朽化が進み、利用者が安全で機能的に使用できているのか。また体育用具などの更新は定期的に行われていますか。

教育長 社会教育施設はかなり古くなっており、一番古いのが町民会館で、すでに40年が経過し、耐用年数も過ぎています。その都度修繕を行いながら利用している現状です。

体育用具は使えなくなったときに、その都度随時補充をしているのが現状です。

町長部局と議会とも相談しながら、今後の各施設の充実については、考えていきます。

その他「フルーツ公園を環境整備する考え」について質問したところ、町長より、「観光開発の重点施策の中の1つとして、順位制をもって今後慎重に検討します。」との回答がありました。

議会のしくみとは

今年は統一地方選挙が行われ、川崎町議会も新しい体制へと変わりました。そこで、みなさんにもう一度川崎町の議会や議員の仕事を知ってもらうため、特集しました。



1 議員とは何でしょう？



授業で習ったけど…
なんだっけ？



2

議員とは、川崎町がより良い町になり、住みよくするにはどうすればよいか、話しあったり、決めたりする人たちのことです



川崎の事は
川崎に住むみんなで
考えればいいのに…
何で議員が必要なの？



3

川崎町には約1万6千人の人が住んでいます。みんなの意見を聞いて話を進めるのはとても難しいですね。だから、議員がみんなの「代表」として話し合うのです。

※川崎町には現在 16 人の議員がいます。



4

3月・6月・9月・12月には「定例会議」を開いて、川崎町の未来に関わるたくさんの大切なことを話し合います。

川崎町は通年議会だからとても急ぐことがある時はいつでも会議を開けるよ



※通年議会とは会期を1年として、議会の判断で必要に応じて会議を開ける制度



5

大切なことって何だろう？



たとえば
「条例」「予算」「決算」があります。



6

(ちなみに)
より詳しく話しあいたいことは議員のうち何人かで「委員会」を開いて話し合います



7

委員会には議会運営委員会と常任委員会と特別委員会があります。川崎町では、すべての議員がいずれかの委員会に所属しています。

常任委員会

総務常任委員会

民生文教常任委員会

建設産業常任委員会

予算決算常任委員会

の4つがあります。特別委員会は現在、議会だより編集特別委員会があります。各委員会の職務内容は4ページ、メンバーは3ページをご覧ください。



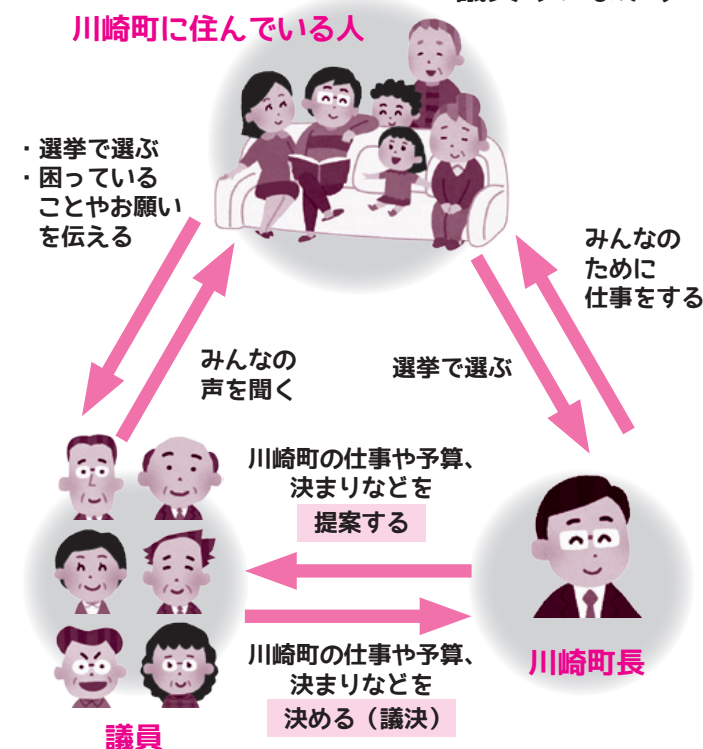
8

いろいろしてるんだ。
でもわたしたちの暮らしと
どうつながっているの？



9

川崎町に住んでいるみんなと、議員のつながり



10

ちなみに・・・

議会へは、お願い(請願・陳情)をすることができます。お願いは、川崎町の住民であれば、誰でもすることができます。

お願いの方法は、2つあります

せいがん
請願

お願いの内容を議会に紹介する議員と一緒にします。

ちんじょう
陳情

お願いをする人だけです。

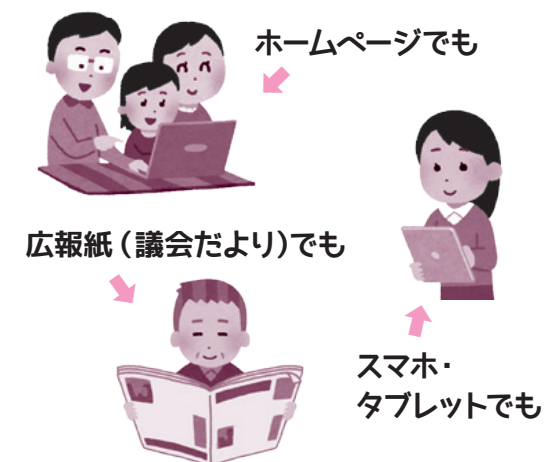


請願は、まず、所管の委員会で取り上げられ、お願いの内容について議会としてどうするかが話し合われます。



11

また、議会の様子はいろんな方法で見ることができます



議会だよりは、1年に4回みんなの家にもとどくよ。ぜひみてね。



でも・・・
どうせなら生で見たくないですか？



議会は
見学することが
できるんだ(傍聴)
みんな!!
まってるよ!!

ぜひきてね

今回の
主人公

チームのエース

村上 悟志さん (48才)
(三井行政区)

3期連続優勝の貢献者

- ソフトボールを始めたのは？
22歳から。友人に誘われて。
- ソフトボールをして良かったこと
楽しい時間を過ごして良い友達ができる。
- このチームの仲間と出会って
いろいろな試合をして
仲間意識が強くなっている。
- 次の大会の目標は
県大会が本町であるので
優勝したい。



議会だより編集特別委員会

編集委員が変わりました！！

委員長：中山 信和 副委員長：小田 卓

委員：手嶋 康德／川根 節生／寺田 響／

手嶋 真由美

新しいメンバーで試行錯誤をしながら、

町民の皆様には議会からの声をお届け致します。

読んでいただき、感想も聞かせて頂けたら嬉しいです。



編集 後記

令和という新しい時代が始まりました、新たな議会だより編集委員会による第135号が発行出来ました、どのような内容にすればみなさんに読んでいただけるのか、理解していただけるのか、委員会で「緊張感」を持って取り組みました、ご愛読をお願いします。

私は緊張感がとても好きです、緊張はいわば人生の刺激。刺激があればこそ、生きているという実感も格段に増してきます。家に籠もってばかりいると刺激もなければ緊張もない、逆にちっぽけなことでも思い悩むばかりです。人と会う、話すだけでも刺激を味わえます。みなさん外に出ましょう。

【議会だより編集特別委員会】					【発行責任者】
委員長	副委員長	委員	委員	委員	議長
中山 信和	小田 卓	手嶋 康德	川根 節生	寺田 響	櫻井 英夫
				手嶋 真由美	